



「働き方」がわかると笑顔になる

その校務事務処理を行うために1時間かけてデータを設定している先生がいました。その横に5分で設定完了する先生がいたら、55分間何をしますか？KRC学舎は、5分で設定できる校務事務環境を学校ごとに提案しているプロです。

私は、55分で、ギターを練習します。音楽の時間、ギターを弾くと、子どもたちのノリと表情が違います。



今日は、子どものお迎えをいつもより55分早く行きます。



私は、55分で、「大造じいさんとガン」で登場する残雪をボール紙で作ります。昔、先輩がハトメパンチを使って翼が動くようにしていました。渋いです。

私には、母の介護があり、校務効率化は、ありがたいです。



私は、55分で、食育について教材研究します。養護の先生や栄養士の先生とゆっくり話ができます。



なぜ、5分でできることに気づけなかったのか？答えは先生方の声にありました。

今まで校務事務処理に何の疑いもなく、多くの時間を費やしてきました。学校で使っているデータを操作するのに精いっぱい、「ムリ・ムダ・ムラ」に一切気づきませんでした。子どもたちの記録を3つのファイルにそれぞれ入力していましたが、1回で完了することを知ったときには、気がぬけてしまいました。国語や算数の指導主事と同様にICT活用の担当教員がいる都道府県も増えてきたんですね。

以下、全てKRC学舎が実践してきました。

A小学校では、4月に固定時間割が決まれば担任の先生の年間月案は春休み中に作成完了します。あとは、教務と調整して月ごとに修正するのみです。

B小学校では、新採用の先生は、校務事務データパックが配付され、あっという間に事務処理が終わります。休み時間は、子どもたちと校庭で遊び、保護者は、一生懸命子どもと接する若い先生に信頼を寄せます。

C小学校では、ワークテストに付属する成績ソフトや書き順ソフト等のデジタルツールが4月中に、すべての先生のPCにインストールされているので、授業ですぐに使えます。

D小学校では、全学年の差し込み印刷フォーマットができているので行事のあった日に学年ごとに賞状を発行することができます。

E小学校では、通知票ソフトや電子要録データが、すでに4月の時点で設定されているので、異動してきた担任の先生も安心です。



@Tokyo Mitaka Yamada Bungu



@Tokyo Lohas Festa

働き方改革で働き方が**かわる**とよく聞きますが、働き方が**わかる**ほうが仕事は楽しいです。これから、学校教育現場にたくさんの若い先生が熱意と情熱をもって集まることを願っています。最近、昭和時代に使われていた食缶が売られています。また、文房具屋さんでは昔使われていた図書カードやラベルが人気です。若い人の感性とベテランの先生のアイデアがICT活用を加速させます。